

大雄山～足柄駅ウオークに参加して

大中里在住 秋山 和子

真夏のつきささる様な太陽の光を浴びながら元気いっぱい歩く。木陰での休憩。汗びっしょりの体に山の風の気持ち良さは格別。アイスの差し入れも嬉しい。

通りすがりの家々の庭先の華やかな花や、林の中に楚々と吹く小さな山野草、又びっくりする様な大木、そのすき間から見え隠れする青い空。歩いて顔なじみになった方々との会話等いつもの楽しみである。

こんな感じでいつもの様に順調に歩き終わると思っていたのですが、午後の出発間際になってアクシデントが起きました。お腹がキュルキュルと痛みだしたのです。「あれ だめかな」もうそのあとは何が何だか「順調に歩き終わる思い」はダーと雪崩の如く崩れ落ちてしまいました。幸い救護の役員の方に薬をいただき、又救護車にも乗せてもらい、1時間位のウオーク中断ですっかり元気になり、足柄峠から足柄駅迄の下りウオークは元気に参加することができました。当日は救護車のお世話になった方が多く、とても大変だった様ですが、親切にやさしく接して下さり本当に有難うございました。

そして帰りの電車の中、たまたま静岡の歩けの役員の方の隣に座った事で話が弾み「頼朝富士の巻き狩りウオーク」の計画をなさった方は「すごい」との言葉をいただき、Mさんと気をよくしている所に、役員の方のIさんが来られ、又々話がはずみアツという間に乗り換え駅についてしまいました。とても楽しい気持ちで下車。

アクシデントもありましたが、私にとって◎の一日になりました。

甞る古道「村山口登山道」 担当役員 稲葉 英樹

今年のふれあいウオークの二日目(10月20日)は村山古道を歩く。元村山から富士山に至る登山道は「村山口登山道」として古くは仏教信仰の道として修験者たちの手で拓かれ賑わっていたが、明治維新の廃仏毀釈によって富士山中の仏像の取り払いや仏教的名称の改変などが行われた。明治39年に現在の表口登山道の基になるルートが開かれたことにより、登山道の機能を失い、用いられることのない道となった。

今回歩く旧村山登山道は、麓山の村から天照教・札打ち場(注1)を経て、村山浅間神社までの約10キロである。ルート未確認の所もあるので担当役員がまず道探しをした。

1回目は村山浅間神社から札打ち場までのルート探しである。昨年地元の古老におよその順路は聞いてあったものの、聞くところでは大違い、道と言うより沢になっている。少し奥に進むと突然道が消えたり、幾筋にも分かれたりして立ち往生する事がしばしば。おまけに道筋は掴めても木々や雑草で覆われ、とても人の歩ける状況ではない。2回目は9月1日、麓山の村から天照教を経て札打ち場までの道探し、2班に分かれ麓山の村から天照教までの班と天照教から札打ち場までの班とした。幸い、麓山の村から天照教までは現状のままでも充分ウオークコースとして使用出来る事が確認出来た。しかし天照教から札打ち場までの道探しは困難を極めた。2班が合流して懸命に探索を行った結果、一部分を残しほぼ道が確認できた。しかし現状のままでは到底ウオークコースとしては使えず、残りの道筋の確認と安全な道作りは日を改めて実施する事にした。3回目は9月8日、草刈り機・鎌・腰鉈・ノコギリ等、全員が準備をして道作りに臨んだ。残暑の厳しい中、滝のように流れ出る汗を拭く暇も惜しみ、道を覆う草を刈り、行く手を阻む枝を打ち、倒木を起しノコギリを使っての切断、又時には雨で流され陥没した道の穴埋め作業等、昔人が切り拓いた往時の道作りの大変さを万分之一でも味わった様な気がした。懸命な作業の結果、ほぼ道らしい道となった。

今年は富士山ふれあいウオーク10周年と言う節目の年である。地元にある古くからの歴史ある道を、地元の諸氏に是非歩いてもらい、往時の修験者の道作りに思いを馳せて欲しい。安全なコース作りを目指して道作りはまだまだ続きます。

* 注・1 札打ち場 —— 登山者が安全を願って護摩札に記入し大樫に打ち付け祈願した所

頼朝富士の巻き狩りウオーク PART---IV

万野在住 赤池

昔は山へ畑に会社に何時間もかけて歩いた。自然に足腰が鍛えられた。今は便利すぎて歩かない、体を使わない。足腰が弱く、いろいろの病気を持つ人が多いと聞く。私もその一人、日曜日に早く飛び起きて歩きに行くのもそのツケかもしれない。

楽しみにしていた巻き狩りウオークパート4、暑さと峠越えを心配しての参加。65名の参加とか。今回乗り換えも多く大雄山鉄道、御殿場線にも。大雄山駅下車。とにかく暑い。

狩川沿いは風もあるが雨降らず太陽ギラギラ道端の草もぐったり。人の会話もだんだんと少なくひたすら歩く。今回は小休止も多く役員さんの差し入れも有り助かった。午後は山道が多く涼しい所を歩く事が出来た。帰りはあちらこちらの湧水を見ながら暑さの中でも涼しさを感じながら下山。畑が近くに見えた時、駅は近いと自然に元気が出ました。

皆さん良く頑張りました。私も出来れば皆勤したいと思えます。役員の皆様色々とお世話になりました。

モデルコース 名称決まる!

名称 「ふれあいのみち」

10周年記念行事の一環として市内にモデルコースの設定を検討していましたが、場所・コース順路・距離等は既に決まり、後は標識及び看板等の設置を残すのみとなっていました。そこで標識を設置するに当たり、モデルコースの名称をとの声が会員より挙がり、役員会での議題とし検討をした結果、「ふれあいのみち」に決定しました。潤井川の遊歩道に「ふれあいのみち」の標識が登場する日も真近です。

来年度月例ウオークコース募集!!

企画指導部では来年(平成15年)の月例ウオークのコースづくりの検討に入りました。

そこで本年は会員の皆さんの希望をとり入れ検討したいと考えています。こんなコースをと希望がありましたら出して下さい。

コース設定での注意事項

- ① バス又は電車利用の場合は、最大でも片道2時間まで
- ② あまり険しい山道のコースはさける。
- ③ 途中、休憩場所とかトイレのあるコースを選ぶ。
- ④ 詳しく分からない場合は、〇〇方面とか〇〇地でも可。
- ⑤ 10月10日までにハガキにて事務局宛にお送りください。

編集後記

初秋とはいえ、日中はまだまだ暑い日が続いています。会員の皆さんはいよいよ御健勝のこととお喜び申し上げます。私たちは、皆さんに喜んで頂ける紙面づくりに努めていますが、それには皆さんの投稿・紙面に対するご意見等がどうしても必要です。ご協力の程よろしくお祈りいたします。次回の月例ウオークで、お互い元気で会いましょう。

平成14年9月 広報担当

お詫びと訂正

前号で掲載しました石川 忠さんのホームページアドレスに誤りがありましたお詫びして訂正いたします。

<http://www2.ocn.ne.jp/~aruke>